

大人も子どもも赤ちゃんも! 三三三と三三三のライブで楽しむアニメーション



音楽とフィルムが奏でる
アニメーションの世界

アニメ あらかると!

2024年

事前
申込制

3月2日(土)

13:30~14:40

(受付開始12:30)

※上映終了後に「初期映像
装置 体験コーナー」を実施
(14:40~15:40予定)

中原市民館 多目的ホール

料金/一般:600円 小中高生:400円

未就学児・障害者手帳等をお持ちの方とその介護者:無料

※お支払いは当日会場にて(現金のみ)

※各種割引料金をご利用の方は、証明できるもの(原本)をお持ちください

定員/150名(自由席、小さなお子様は保護者同伴でご参加ください)

※ベビーカー、車いすでの入場可

申込期間/2024年2月5日(月)10:00~2月19日(月)16:00

※1組4名まで応募可、申込多数の場合は抽選(当選者のみに2/22までにメールで連絡)

WebページURL <https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/28994/>

ベビーカー鑑賞OK
途中入退場可



申込・詳細はこちら

主催:川崎市市民ミュージアム
協力:国立映画アーカイブ、神戸映画資料館
技術協力:有限会社鈴木映画
広報協力:「映像のまち・かわさき」推進フォーラム



神戸映画資料館
KOBÉ PLANET FILM ARCHIVE



COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



いつの時代も私たちをとりこにしてしまうアニメーション。

「アニメ あらかると!」では、バラエティ豊かなアニメーションの世界をご紹介します。

映画にまだ音がなかったころ、^{ばんそう}伴奏や^{かつべん}活弁(解説)、レコードとともに映画は楽しまれてきました。今回はそんな時代の作品から、アニメーションの礎を築いたパイオニア達の名作や、約100年前に大ヒットした漫画『^{しょう}正チャンの冒険』などをフィルム上映します。無声作品はピアノ伴奏と活弁のライブ付き。上映後は昔のアニメーション装置やフィルムに触れることができる体験イベントを実施します。

小さなお子さんや赤ちゃんと一緒に鑑賞が可能です。もちろん大人の方だけの参加もお待ちしています。およそ1世紀前の映画館にタイムスリップしてお楽しみください!



エミール・コール短編作品集

(1908年～1912年 / 監督:エミール・コール / 16ミリ / 白黒 / 17分 / 18fps)

※伴奏・活弁付き上映

パリ出身のエミール・コールによるアニメーション誕生の記念碑的作品、「ファンタスマゴリー」(1908)は、世界初のカートゥーンアニメーションと言われる。日本では翌年「^{でこぼろ}凸坊新画帳」として公開され、日本のアニメーション誕生に大きな影響を与えた。ほか、実写のストップモーションを使用した映画など、趣向の違う短編4作品を上映。

「FANTASMAGORIE」(1908)、「THE DENTURES」(1909)、「THE AUTOMATIC MOVING COMPANY」(1910)、「Snookums」(1912)。



しょう 正チャンの冒険

(1925年頃 / 監督:不明 / 16ミリ / 白黒 / 7分 / 16fps)

※伴奏・活弁付き上映

砂漠を旅する正チャンと相棒のリスの前に現れた、怪しげな遺跡。中には... 大正時代に『日刊アサヒグラフ』、『朝日新聞』で連載され、一大ブームを巻き起こした4コマ漫画『正チャンの冒険』(作:小星、画:東風人)を当時アニメーション化したもの。原作となる「^{しんみやこ}シノミヤコ」(「お伽 正ちゃん冒険」式の巻)は、川崎市市民ミュージアムWebサイト内「漫画資料コレクション」でご覧いただけます。

映像提供:神戸映画資料館

*会場で「正チャンの冒険アクリルフィギュア」を販売!



[漫画資料コレクション]



心の力

(1931年 / 監督:大藤信郎 / 35ミリ / 白黒 / 18分 / 16fps)

※伴奏・活弁付き上映

弱虫の^{だんごべん}団子兵衛は、ある日「^{にほんいちからふだ}日本一力札」の御守を手に入れ、誰にも負けない力を得る。ある日、さらわれた^{おね}姫君を助けるため、団子兵衛は犬と猫と怪物退治にでかけるが、力札を落としてしまう。大藤信郎が製作した千代紙の切り絵アニメーションで、動物や怪物などのキャラクターも魅力的。

映像・画像提供:国立映画アーカイブ



ちやめこ 茶目子の一日

[パテートキー版][デジタル復元版]

(1931年 / 監督:西倉喜代治 / 35ミリ / 白黒 / 7分)

レコードの音楽に合わせて、小学生茶目子の一日が始まる。一度聴いたら忘れられない歌と、日常を擬人化した愉快なアニメーション。

映像・画像提供:国立映画アーカイブ



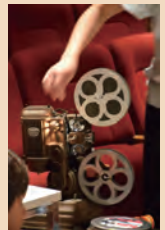
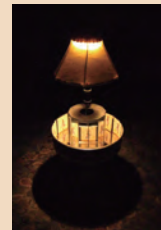
アニメ あ・ら・かると

(1989年 / 演出:福島治 / 35ミリ / カラー / 10分)

川崎市市民ミュージアムが製作。25名のアニメーション作家とワークショップ参加者がミュージアムのロゴマークを題材に製作した、様々な作風が楽しい連作アニメーション。主な参加作家:鈴木伸一、藤幡正樹、小野耕世、岩井俊雄、古川タク、林静一、山村浩二、IKIF、福島治、久里洋二ほか

★初期映像装置 体験コーナー

アニメーション作品を見た後は、「初期映像装置 体験コーナー」でブラクシノスコープや幻灯機、映写機、フィルムなど、昔の映像装置を見て・触ってみましょう! (上映終了後1時間程度実施、自由参加)



かつべん 「活弁」とは

無声映画の上映中に、専任の^{かつどうべんし}活動弁士が傍らでその内容や台詞の解説をつけること。

活動写真(無声映画)を弁ずる解説者を活動写真弁士(略して活動弁士、または弁士)と呼ぶ。

伴奏者紹介

やなした みえ
柳下 美恵

サイレント映画ピアニスト。武蔵野音楽大学卒業。1995年、映画生誕百年祭『光の生誕 リュミエール!』でデビュー。国内、海外の映画館、映画祭などで伴奏、ポロニーヤ復元映画祭にレギュラーピアニストとして招聘された。ピアノで見せる欧米スタイルの伴奏者は日本人初。こども向けの映画音楽ワークショップの講師を勤め、おやこ音楽会&映画会でフルート、ピアノ、バイオリンのトリオ伴奏を行う。NHK プチプチアニメ「けいこのようせいニットとウール」の音楽を2015年より担当。



活動弁士紹介

おだ たかおら
尾田 直彪

2000年生まれ、熊本県下益城郡富合町(現熊本市南区富合町)出身。熊本高校卒・東京学芸大学教育学部卒業。現代の活弁の第一人者である澤登翠弁士の活弁に魅せられ、活動弁士を志す。2021年10月、60年以上続く都内定期開催の活弁公演「無声映画鑑賞会」でデビュー。22年、23年と国立映画アーカイブ「こども映画館」に出演。23年6月に福岡県・熊本県にて独演会を開催。現在、最も若い活動弁士として活躍している。澤登翠門下。



問い合わせ先:

川崎市市民ミュージアム

TEL 044-712-2800(土日祝を除く8:30~17:15)

FAX 044-712-2804

Mail 25museum@city.kawasaki.jp

中原市民館(多目的ホール):〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1・2階
交通 JR南武線「武蔵小杉駅」下車 北改札(南武線口)東口より徒歩3分

JR横須賀線「武蔵小杉駅」下車 新南改札(横須賀線口)より徒歩4分

東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」下車 正面改札より徒歩3分、南口改札より徒歩4分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。多目的ホール内は飲食禁止です。